

勝林寺寺報

蓮如上人がたり

問い合わせ

蓮如上人、折々仰

せられ候う。

「仏法の義をば、よくよく人に聞え、ものをば人によく問い合わせ」

のよし仰せられ候う

たれに問い合わせ、べきよし伺い申しければ、

「仏法だにもあら上下をいわす問

うべし。仏法は、知りそうちもなき者が知るぞ」

と仰せられ候う。

(現代語に訳してみました)

蓮如上人、しばしば折りにつけおつしやいました。

「仏法のおいわれは、よくよく何度も人にお問い合わせ。とにかく人にお聞きなさい」とおっしゃいました。

「どんな誰にお問い合わせばよいのでしょか」と、お伺い申しましたところ「仏法のことであるなら、まず、身分の上下を問わずにおたずねすべきです。仏法のことは、知りそうもないような人が、かえって知っているものです」と仰せになられました。

あなた
自分かつてに「意巧(ひきょう)に聞いて
はいませんか。
自分に都合よいように「得手(えど)に聞
いて」はいませんか。

「獨覺心(どくかくじん)」ほどおそ
ろしいものはありません。
くりかえしくりかえしお念佛に聞くこ
とです。

ちょうど溝をさらえるように、人に問
うことです。

ちょっと油断して聞くかずにいると、「
おれは知ってるぜ」という高慢我慢の泥
がたまってしまいます。

ところで、その場合、どんな方に聞け
ばよいか。

たとえ身階級が上のあつても、

「ものしり顔」「こころえ顔」「わがみ
あり顔」で仏法を説く人に聞くよりも、
仏法を知りそうもない人にお出会いして

聞いてみましょう。

ほんとうのお念佛は、むしろ「文字も
知らず、愚痴(ぐち)きわまりなき」一文不知(い
ちふみ)の」人の暮らしの中に、いま現に
あります。真宗門徒にとって最も大切な法要

です。だく、真宗門徒にとって最も大切な法要

です。報恩講は、ご開山親鸞聖人のご命日に
如来・聖人のご恩徳を讃えさせていた
下の日程に従いお参りさせていただけ
ます。(一月分は後日連絡します)

報恩講をつとめるときにたいせつなこ
と。

①家族全員お参りしましょう。(外出の
人も帰宅後必ずおまいり)

②お仏壇は、前日から左図のようにお莊
厳しましょう。(報恩講のときは下の
五具足で朱蝶燭をともします)(朱蝶
燭は寺で求めてください)(輪燈のお
みがき)

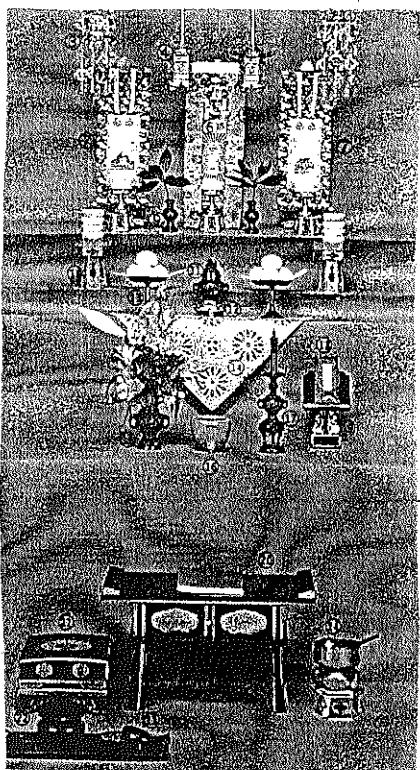
③おつとめは「正信偈(草譜)」です。

④「ご文章」を出しておいてください。

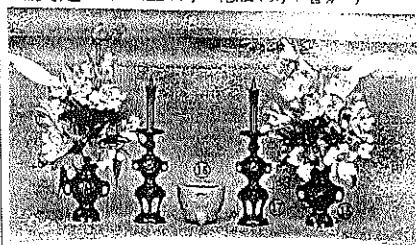
⑤香炉はきれいに掃除しておいて下さい



十一月のことより



五具足(ろうそく立1対+花瓶1対+香炉)



ペットブーム

(いま大学受験浪人中の娘さんの訴えです。)
こんな出石のような田舎でも、いまペットブームです。
ペットというのは、字引でしらべてみると、「愛玩用の動物」と書いてありましたから、玩具、おもちゃのよろにして可愛がる動物のことをいうようです。

犬や猫、何十万円もする珍しい品種を引き連れて、また中には立派な自動車と一緒にのって、旅行に行ったり、散歩したりする人を最近よく見かけるようになりました。

それは、個人が趣味としておもちゃを遊ぶわけですから、他人がとやかく言うべきではありません。がしかし、そのおもちゃのよろペットが、簡単邪魔になつたりやらなくなつたりしたとき、簡単に捨ててしまつたり、焼き殺してしまつていいものでしようか。

こないだも、観光協会のお店の前に、ダンボール箱に入れられて、子猫が四匹も捨ててあつたそうです。

ちょうどそのことがあつた夜、テレビで、わたしはこんなことを勉強しました。

犬でも猫でも、ヨーロッパではたくさんたくさんの種類のものが作られています。

人間の都合のいいように品種改良がされたのです。

狩りに役に立つ犬。羊飼いに働く犬。泥棒を捕まえる犬。ネズミをおっかける猫。子供を遊んでくれる猫。貴婦人を慰めてくれる猫など。

人間の必要に応じてどんどん品種改良がすすみます。その結果、沢山の変種ができるといふことです。その変種がいま日本にどんどん輸入されているのです。

それに対して、日本では、わずか数種類の大昔から的地方特産の犬猫(土佐犬・秋田犬・西おもて島の猫・日本猫など)が、そのまま今に伝えられています。その違いはなにか。

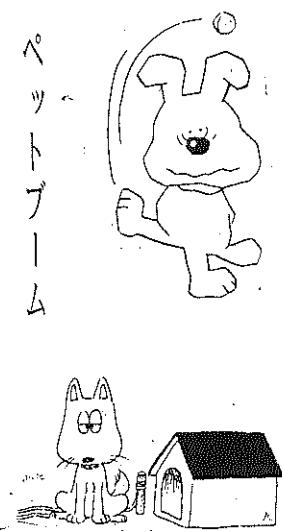
キリストの教えでは、山も川も犬も猫も、牛も豚も、神様が人間のために造り与えてくださった

間で都合のいいように処理し作り替えるのはいいことなのだと思います。

動物を改良したり自然を征服することは、神様の恩寵に感謝し従うことだというのです。

ところが日本では、仏教が信じられていました。

木悉有仏性」(これは高校で習いました)といふことはのとおり、いのちのあるものはみんなきょうだい。山や川、草や木にもいのちをみとめ、それらが互いに拌みあい、寄り添い助け合つて生きているのです。



ものだから、神様のおぼしめしにしたがつて、人間に都合のいいように処理し作り替えるのはいいことなのだと思います。

動物を改良したり自然を征服することは、神様の恩寵に感謝し従うことだというのです。

ところが日本では、仏教が信じられていました。

仏教では、「一切衆生悉有仏性」とか「山川草木悉有仏性」(これは高校で習いました)といふことはのとおり、いのちのあるものはみんなきょうだい。山や川、草や木にもいのちをみとめ、それらが互いに拌みあい、寄り添い助け合つて生きているのです。

人間だけの勝手な都合で、ほかのものの命を操り作り替え殺してしまうなんてとんでもないことです。これが仏教の教えだし、日本のこころだったのです。

わたしは、このテレビ番組をみながら、いろんなことを考えさせられました。「オーム真理教」：自分が悟るために、無差別な殺人を平気でやってのけるのは、あれは仏教ではない。「アラブ、ユダヤの宗教戦争」：神様がそれぞれの選民を抱き込んで争いあわしている。

「環境問題」：わたしのいのちは、狭い町や国の環境のなかだけでなく、ひろい広い人類・地球・世界・宇宙の環境のなかで、山とも川とも、木とも草とも、犬とも猫とも、共に支え合いながら生きていかなければならぬのだ。

「帰命無量寿如来」：無量寿にみんなが寄り合ふいながら共に生きましょうと、そんなことをずっと前日の子供会のとき聞いたことも、思い出してもうしました。

兵庫教区門徒推進員連絡協議会

金戦没者五十周年追悼法要

に参拝して

永井ひろ子

十一月十六日、新築なった神戸別院(教化センター)でお勤まりになる「金戦没者の追悼法要」に、お参りさせていただきました。十六・十七と二日にわたつてお勤まりになるそうですが、出石組の参拝団(約50名)は初日十六日に割り当てられていました。

わたしは、あの阪神淡路大震災後、現地に行くのははじめてでした。被災の状況はテレビや新聞である程度知つてはいましたが、まああたりにまだ復興されていない町の様子をバスの車窓から見るにつけ、いまさらながら、戦争にも災害にもあわず過ごせている毎日が、もつたいく、また申し訳ないと強く感じさせられました。

すばらしいお仏像のおまつりしてある広い大ホールでの追悼法要は、雅楽やコーラス、読経のかで、厳粛そのものであります。

わたしは、あの阪神淡路大震災後、現地に行くのははじめてでした。被災の状況はテレビや新聞である程度知つてはいましたが、まああたりにまだ復興されていない町の様子をバスの車窓から見るにつけ、いまさらながら、戦争にも災害にもあわず過ごせている毎日が、もつたいく、また申し訳ないと強く感じさせられました。

御法話は龍野源徳寺の窪田ご院家さまでありました。ご院家さまは、昭和八年生まれ。わたしと同様あの戦争に青春を奪われた世代であり、あの戦争の悲惨さを身をもつて経験しておられるだけに、ここから共感をもつて拝聴させていただきました。

源徳寺さまは、戦争中、二年間、三〇人ほどの疎開児童をお世話をなさつたそうです。ことに食糧事情は最悪で、ほとんど水ばかりの団子汁であったと申します。

週末になると神戸からの親の面会がある。子供達は喜び勇んで駅まで迎えに行きます。しかし戦況が緊迫し、神戸にも姫路にも空襲が激しくなるにつれ、面会に来てくれる人がだんだん減っていく。迎えにくることも、最初駅まで迎えにくる家族を亡くしたことなどが増えて行きました。子供達は、どうしてみようもありません。さみしさのあまり、人形を抱きしめ涙をこぼすことがあります。

除夜会

みのりを聞く会
一月二十一日午後7時半
(今回は亀井幸男さまお供養の会)

仮壯・仮婦の役員ご奉仕下さい

歳末大掃除
十一月二十一日午後1時半より



今回のこの法要で、しかも戦争ながらの震災の町で、いのちを見つめるすばらしい体験をさせていただきました。そして、これから子供達に、この悲惨なことを味わわしくないと、しみじみ思つたことあります。

戦争をじつと見つめていたのです。ひとのいのちをじつとのぞいていたのです。わたしも今一度「戦争」を見直して見ようではありますか。ひとのいのちを見きわめてみよう

新役員報告のこと

平成8年度の新役員を

十二月二十八日までに必ずご報告ください。

- ①代議員
- ②仮壯理事
- ③仮婦評議員

(報告用紙は別便で送ります)